

ふれあい

2020.12
No.051

今回の特集は
下関で学ぶ留学生に突撃アンケート！
リフレクティング研修会@YAMAGUCHI

山口県介護福祉士会理事 中部ブロック長 辰巳 智哉

『介護の仕事は奥が深い！』

介護の仕事に就いて13年になりますが、日々仕事や研修で新たな発見も多くあります。
時代に合わせた介護を提供していきたいと思っています。

一般社団法人 山口県介護福祉士会



事務局にお問合せください。

〒754-0893

山口県山口市秋穂二島1062

山口県セミナーパーク 内

TEL 083-987-0122

FAX 083-987-0125

E-mail info@yamaguchi-kaigo.jp

URL http://www.yamaguchi-kaigo.jp/

平日のみ

☎083-987-0122

周南ブロックYouTubeチャンネル

11月11日は介護の日。

周南ブロックよりYouTubeでたいせつなこと

一人ひとりが思いをつづり未来をカタチ創る

介護の第一線で従事するものからのメッセージを配信しました！

■「介護の日」映像（YouTube配信）の経緯と目的

-「介護の日」2020の動画は、11月11日（水）18:00より

山介周南ブロックYouTubeチャンネルで配信中！

現在、視聴回数が1,000回を超え多くの方にご覧いただいています。

「介護の日」は毎年イベントを開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、予定していたイベント開催を中止しSNSにて映像の公開をいたしました。

本映像公開は「介護の日」の周知、「介護についての魅力」や「介護について共に考える」機会を提供するという目的を動画にすることができたと考えています。

まだご覧になってない方は下のURLか、「山介 周南」を検索の上、山介周南ブロックのチャンネルを閲覧ください。尚、チャンネル登録をされますと新たな動画がアップするといち早くご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/c/山口県介護福祉士会周南ブロック>

山介周南 YouTube



たいせつなこと

ひとりひとりが思いをつづり未来をカタチ創る
介護の第一線で従事するものからのメッセージ

2020年11月11日（水）「介護の日」配信
山介周南ブロックYouTubeチャンネル



介護従事者のメッセージ

一人ひとり介護に対しての想いを言葉にさせていただきました。

介護にはやりがいがあり、人を想い、寄り添い、たいせつに感じる
ことがあります。この想いをYouTubeを通して感じてください。



海外から日本に来て、介護福祉士を目指して勉強している若者を紹介します。彼らは現在、

下関市にある**東亜大学医療工学科医療福祉コース**に在籍している

学生です。下関で介護を学んでいる学生にアンケートをとりました！

- ①いつ日本に来ましたか？〇〇年〇〇月？ ②なぜ、留学先を日本にしたのですか？
③なぜ介護を勉強しようと思ったのですか？
④日本で暮らしてみて、いかがですか？楽しいことや困っていることなど話してください。

Nguyen Thi Yen Linh グェン・ティ・イエン・リン

21歳 ベトナム ①2018年4月に日本に来ました。

日本語検定 N2 ②日本語を勉強しながら、日本の文化や習慣を調べているうちに、日本のことが大好きになって、日本に留学することに決めました。

③残りの人生を生きている高齢者の生きがいを支えたり、幸せな生活を送ることを支えたいと思っているからです。また、自分も高齢者から積極的なエネルギーもらえますので、私は介護を勉強したいと思っています。

④日本で暮らしてみて、めっちゃ安全で便利だと思いました。楽しいことは学校以外のアルバイト先でいろいろな人に出会って話したり、交流したりして、たくさん友達ができたことです。困っていることは、日本語がまだまだ上手にならないので伝えたいことがうまく伝えられないことです。

①2018年4月に日本に来ました。

②子供の時はマンガが大好きで、日本で住むのは夢でした。「ドラえもん」が大好きで、今も【どこでもドア】がほしいです。③高齢者と話したり、聞いたりするのが好きです。そして、日本で介護をする人が足りないということを聞いて、介護を勉強しようと思い始めました。④日本で暮らしてみて、いいなと思います。毎日楽しく暮らしています。友達ができるのが楽しいです。困っていることは、日本語がまだ理解できないことが多いということです。だから、日本語のレベルアップをしたいと思っています。

Hoang Thi Oanh ホアン・ティ・オアン

21才 ベトナム

日本語検定 N2

Tamang Binod タマン・ビンノド

28歳 ネパール

①2018年10月に日本に来ました。

②日本にいるネパールの留学生から日本の学校についていいことを教えてもらいました。日本のルールとか学校での学生に教える方法などです。他の国より日本は安全な国と聞いたからです。たくさんの方から日本のことを聞いて、自分も日本に留学したいと思いました。

③私は将来介護に関した仕事をやりたいと思っています。ネパールでは歳をとったら、家族が世話をするのが一般的ですが、これからは老人ホームなどの施設も必要だと思います。日本で経験をつんだ後、ネパールでこういう施設を作りたいと思います。

④日本で暮らしてみて、生活が便利だと思いました。いろいろな国の人と一緒に勉強して楽しいし、ベトナム、中国、日本の文化について少しずつでもわかるようになりました。

～ 外国人介護人材受け入れの仕組み紹介 ～

1) EPA (経済連携協定を締結している国はベトナム・フィリピン・インドネシア)

・二国間の経済連携の強化

2) 残留資格「介護」

・専門的・技術的分野の外国人の受け入れ

3) 技能実習

・本国への技能移転

4) 特定技能Ⅰ号

・人手不足対応のための一定の専門性・技能を有する外国人の受け入れ

外国人介護人材はこのように来日する。
介護福祉士を取得して、母国で活かすも
日本で活かすも、若い世代が福祉・介護で
“大活躍”してほしいですね！



会員の活動紹介！

今回は中部フロック 伊木康人さん

「地域包括ケアシステムに活かす

リフレクティング研究会@YAMAGUCHI」



私が山口県介護福祉士会とともに活動している「地域包括ケアシステムに活かすリフレクティング研究会@YAMAGUCHI」、

略してリフレ研@山口を紹介します。皆さん、リフレクティングをご存じでしょうか？私たちリフレ研@山口は、近年、オープンダイアログの関心とともに注目され続けているリフレクティングを学び、地域包括ケアシステムに活かしていくことを目指しています。

○リフレクティングとは？

1985年、ノルウェーの精神科医トム・アンデルセンが提唱しました。リフレクティングを説明すると少し長くなってしまいますが、端的に伝えると「会話についての会話」という画期的なコミュニケーション方法です。多様な参加者がコミュニケーションを行う上で「はなす」ことと「きく」ことを丁寧に積み重ねることによって、今までにない新たな会話の空間が生み出されます。

○なぜ地域包括ケアシステムに？

利用者やそのご家族、そして医療・福祉の専門職の間には常に「会話」が行われています。地域包括ケアシステムの構築には、この絶え間なく行われている「会話」が非常に重要だと思っています。私はリフレクティングを活用し、より良いシステムの構築に貢献したいと考えています。

○リフレクティング勉強会について

1年に1回、矢原先生をお招きしたリフレクティングセミナーを開催しています。2日間に渡るセミナーなので、とても充実した内容となっています。また、セミナーとは別に定期的にリフレクティング自主勉強会も開催しています。こちらは私たちと参加者で矢原先生の「リフレクティング 会話についての会話という方法」という本をリーディングし、その内容検討を行います。そして、実際にリフレクティングを実践するワークも行っています。参加者は様々な職種の方がいらっしゃいます。最近ではZOOMも活用するようになり、県内のみならず県外の参加者も増えてきています。

○リフレクティングを教えてくれる先生

国内におけるリフレクティング研究・実践の第一人者である熊本大学大学院矢原隆行教授よりご指導を受けながら定期的に勉強会を開催しています。矢原先生はご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、介護研究セミナーや事例・介護研究発表会などで山口県介護福祉士会でもお馴染みの先生です。

